



## 人道

古くから神社の参道や鳥居の中央は、神様が通る神聖な道と考えられている。宗教的な観念が人の導線を操作させ、その行為自体が我々に宗教的観念を喚起する。正中を避けて脇道を歩くということは、それほどの意味合いを持つ。

広島県宮島にある厳島神社は、干潮時に初めて鳥居までの道が開けるが、泥濘が酷く、正中とそれ以外の区別がつきにくくなっている。

両端の脇道にGLから200浮かせた長い道しるべを配置する。それは単なる道筋としてだけでなく、神の道、正中をより顕在化するための装置ともなる。

